

日本初の細胞診・HPVテスト併用 子宮頸がん行政検診成績

— 島根県モデル事業第1報・車検診 —

いわ 岩	なり 成	おさむ 治 ¹⁾	いずみ 泉	よう 陽	こ 子 ¹⁾	かた 片	ぎり 桐	ひろし 浩 ¹⁾			
きし 岸	もと 本	とし 聡	こ 子 ¹⁾	くら 倉	た 田	かず 和	み 巳 ¹⁾	たか 高	はし 橋	なり 也	ひき 尚 ¹⁾
か 加	とう 藤	いち 一	ろう 朗 ¹⁾	うえ 上	だ 田	とし 敏	こ 子 ¹⁾	くり 栗	おか 岡	ひろ 裕	こ 子 ¹⁾
よし 吉	の 野	なお 直	き 樹 ¹⁾	もり 森	やま 山	まさ 政	し 司 ¹⁾	お 小	むら 村	あき 明	ひろ 弘 ²⁾

キーワード：子宮頸がん，検診，HPV，細胞診 HPV テスト併用

要 旨

日本で初めて、細胞診・HPV テスト併用子宮頸がん行政検診を、出雲市と斐川町の車検診で施行したので報告する。なおこの検診は、島根県のモデル事業として行った。

- 1) 車検診受診者数が前年に比較し1.5倍（若年層は2.5倍）増加した。一方、同時期の施設検診受診数に変化はなかった。
 - 2) 車検診受診者は依然として罹患率の低い60歳以上が60%を占めていた。一方、同時期の施設検診は罹患率の高い若年層が多く受診していた。
 - 3) 車検診受診者のHPV陽性率2.1%は県立中央病院施設検診のHPV陽性率10%と比較し非常に低値であった。また、今回の車検診での要精検率は0.7%、中等度異形成以上の発見率は0.12%と低値で、同時期に施行した施設検診における要精検率は2.3%、中等度異形成以上の発見率は0.58%であった。
 - 4) 車検診受診者の98%が3年後の受診勧奨者であった。この結果をふまえて、市町村の財政的効率を試算したばあい、3年間に30%削減できることがわかった。
- 以上から細胞診・HPV テスト併用検診は有効かつ効率的検診であることが判った。

Osamu IWANARI et al.

1) 島根県立中央病院産婦人科

2) 産婦人科医会支部長

連絡先：〒693-8555 出雲市姫原4-1-1